

当社水力発電所からの油漏れの原因等について

平成20年3月10日
北陸電力株式会社

当社片貝第一発電所からの油漏れの原因等について、取りまとめましたので、お知らせいたします。

これは、平成20年3月4日(火)午前10時頃、片貝第一発電所の放水路に油が漏れ出したため、同発電所の運転を停止し、漏れ出した油を回収するとともに、原因を調査していたものです。(同日お知らせ済み)

今回の油漏れは、2台ある水車のうち、2号水車の油配管接続部が密着不足だったため油が漏れ出し、さらに配管溝に隙間があったため、油が建物の基礎部分を通して放水路の側壁に漏れ出したものです(別紙説明図参照)。漏れ出た油の量は、その漏れ出た状況や回収状況から、10リットル未満と推定しております。

現在、2号水車の油配管と配管溝の修理について、3月中の完了を目指して作業中です。

なお、1号水車については油配管に異常がないことを確認するとともに、万一、配管から油が漏れ出しても放水路に流れ出ないように対策を施して、3月8日(土)11時30分頃に運転を再開しております。また2号水車については、今後、関係機関のご指導をいただきながら、運転再開に向けて対策を実施してまいります。

関係者の皆さま、地域の皆さまにはご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後、これらの対策を安全、かつ確実に実施し、環境の保全に努めてまいります。

別紙 油漏れ箇所の説明図

<参考 片貝第一発電所の概要>

- ・所在地：富山県魚津市平沢間瀬(ひらさわませ)1303
- ・出力：4,200kW
- ・発電開始年：明治45年
- ・水系名：片貝川水系

以上

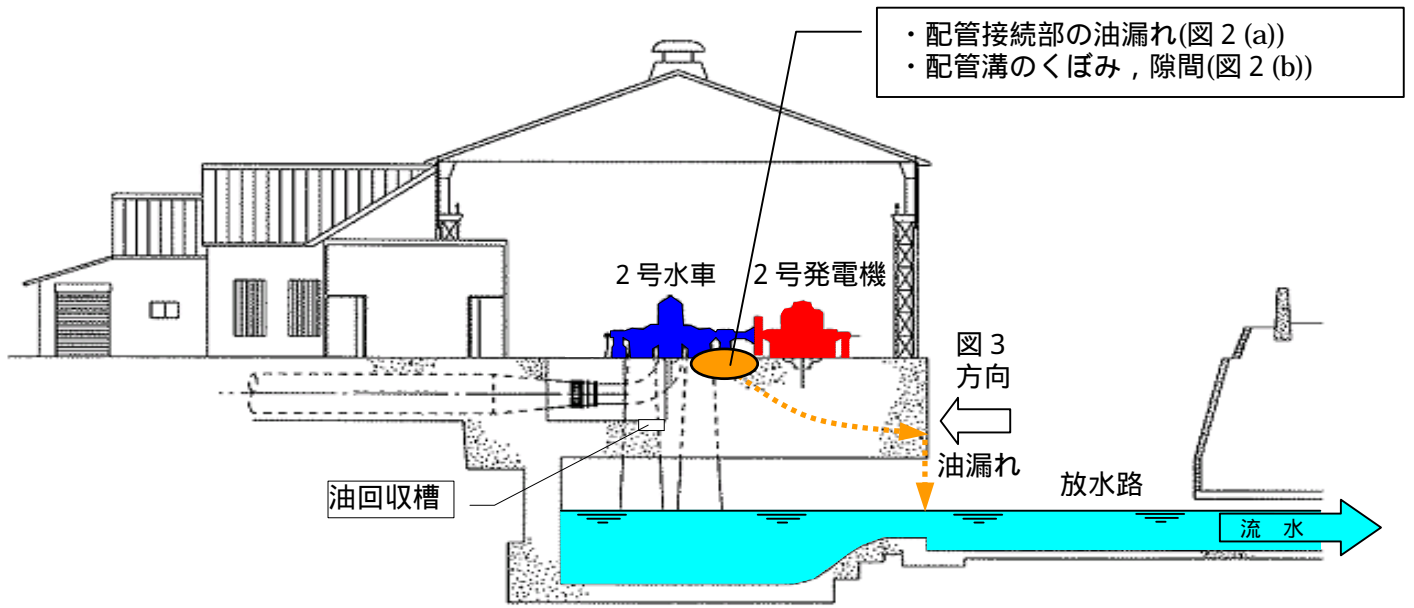


図 1 2号水車付近 本館断面図



図 2 (a) 油が漏れ出した配管接続部

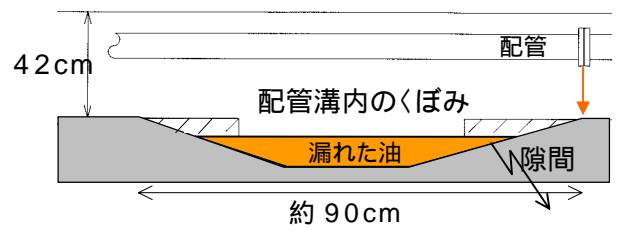


図 2 (b) 配管溝内のくぼみ断面図



図 3 2号水車付近 本館側壁(放水路側)